



## 【指数日足チャート】

### ▼ハンセン指数



### ▼上海総合指数



## 【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	20年末株価
NYダウ	35,061.55	238.20	0.68	1.08	14.56	30,606.48
NASDAQ	14,836.99	152.39	1.04	2.84	15.12	12,888.28
日経225	27,548.00	159.84	0.58	-1.63	0.38	27,444.17
上海総合	3,550.40	-24.34	-0.68	0.31	2.23	3,473.07
滬深300 (CSI300)	5,089.23	-62.52	-1.21	-0.11	-2.34	5,211.29
ハンセン	27,321.98	-401.86	-1.45	-2.44	0.33	27,231.13
中国企業	9,839.05	-167.52	-1.67	-3.09	-8.38	10,738.40

## 【株式概況】

### 先週の動き:ハンセン指数は2.4%安と反落、上海総合指数は0.3%高

香港市場ではハンセン指数が週間で2.4%安と反落。米中対立激化への警戒感に加え、新型コロナ変異株の感染拡大による世界経済への悪影響に対する懸念で地合いが悪化した。19日に28000ポイントを割り込んで始まると21日まで3日続落。22日には買い戻しが入ったが、週末23日には再び売り込まれた。本土市場では上海総合指数が週間で0.3%高と3週続伸。最優遇貸出金利の据え置きなどが嫌気されて週前半は軟調に推移したが、その後は値ごろ感の出た銘柄を中心に持ち直す展開となった。

### 今週の展望:香港市場は弱含みの展開か、値ごろ感の出ている銘柄には買い戻しも

香港市場は弱含みの展開か。NY市場で主要3指数が過去最高値を更新していることは香港市場にとっても追い風となるが、中国当局によるネット企業への統制強化が引き続き懸念材料。教育産業への規制強化も発表され、市場全体のセンチメントにも影響を与える可能性がある。27-28日にFOMCを控えて手控えムードが広がることも考えられるが、足元の下落で値ごろ感の出ている銘柄には買い戻しも期待される。本土市場はもみ合いか。製造業PMIの発表を週末に控えて一進一退の展開が続くそう。

## 先週のハンセン騰落ランキング

### ▼騰落率上位

順位	銘柄	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1	BYD (01211)	227.20	6.97
2	チャイ・モバイル (00941)	50.10	4.27
3	チャイ・コム (00762)	4.29	3.87
4	香港鉄路 (00066)	46.35	3.81
5	龍湖集団 (00960)	43.25	3.35
6	信義光能 (00968)	15.72	2.61
7	ホン・チャイガス (00003)	12.52	1.29
8	申洲国際集団 (02313)	168.40	1.08
9	恒隆地産 (00101)	18.88	1.07
10	中電控股 (00002)	78.45	0.84

### ▼騰落率下位

順位	銘柄	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1	安踏体育用品 (02020)	169.80	-8.95
2	碧桂园服務 (06098)	71.40	-8.29
3	阿里健康 (00241)	14.04	-7.75
4	瑞声科技 (02018)	48.05	-7.33
5	藥明生物技術 (02269)	129.70	-7.29
6	海底撈國際 (06862)	41.65	-7.03
7	小米集團 (01810)	26.35	-6.73
8	美团 (03690)	273.20	-6.05
9	テンセント (00700)	531.00	-5.85
10	万洲國際 (00288)	6.29	-4.41

## ▼今週の主なイベント

- 7月27日(火)
- 【米国】FOMC (~28日)
- 【中国】工業企業利益 (6月)
- 7月30日(金)
- 【香港】GDP速報値 (4-6月)
- 7月31日(土)
- 【中国】製造業PMI (7月)

## ▼今週の期待材料

- ◆NY市場で主要3指数がそろって過去最高値更新、好調なNY市場が香港市場の追い風に
- ◆ハンセン指数が先週は週間で2.4%の下落、足元の下落を受けて下値ではリバウンドが入る可能性も
- ◆A株企業2000社近くが中間決算の業績見通しを発表、約7割の企業が業績改善の見通し

## ▼今週の懸念

- ◆世界で新型コロナの感染が再拡大、変異株の流行で世界的な景気回復の遅れに警戒感が強まる可能性も
- ◆中国当局によるネット企業への統制強化続く、滴滴出行に強制的な上場廃止など「前例のない厳罰」か
- ◆中国当局が教育費抑制に向け教育産業への規制を強化、上場企業の資金調達や学習塾の運営などを制限

## 【今週のマテリアル銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ ASM パシフィック (00522) : 27日に6月中間決算を発表、市場予想は純利益3倍
- ☆ 中国交通建設 (01800) : 6月中間決算は純利益2.1-2.4倍の見通し
- ☆ バドワイザーAPAC (01876) : 29日に6月中間決算を発表、市場予想は純利益3.1倍
- ☆ IMAX チャイナ (01970) : 27日に6月中間決算を発表、会社予想は黒字転換の見通し
- ☆ 紫金鉱業集団 (02899) : 30日に6月中間決算を発表、会社予想は純利益2.6-2.7倍
- ☆ 新疆新キン鉱業 (03833) : 6月中間決算は販売増加と価格上昇で黒字転換の見通し
- ☆ 中海石油化学 (03983) : 6月中間決算は純利益4倍超の見通し、販売価格上昇が寄与
- ☆ 海底撈國際 (06862) : 6月中間決算は0.8億-1億円の黒字に転換の見通し
- ★ テンセント (00700) : 16年の中国音楽集団の買収を巡り当局から罰金処分
- ★ 新東方教育科技 (09901) : 中国当局が学習塾を規制、学習塾事業の大きな打撃に

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。